

## 調べ学習

# 自分の考えを明確に伝えよう

## ～「平和」について考える～

新宿区立戸塚第一小学校 編

実践事例	
1	実践した教科・領域等 : 国語科
2	対象学年 : 小学校 第6学年
3	活用した書籍情報 : 「平和」に関する書籍 130冊
4	読書活動の実践の概要 : 全10時間 ① 「平和」という言葉から連想することをイメージマップに書く。単元計画を知る。 ② 共通資料『『平和』のとりでを築く』（光村図書国語6年）を読み、事実と筆者の考え、自分の考えをまとめる。 ③ 共通資料「難民に思いを寄せて一緒方貞子」（文溪堂道徳6年）、「鉄道係員に対する暴力行為の件数」を読んだり「平和」に関する図書資料のリストを見たりして、イメージマップを書き足す。 ④ 意見文の書き方を知る。 ⑤ 「仮の要旨」をまとめる。 ⑥ 意見の根拠となる具体例や資料を集め、要旨を確定する。（2時間） ⑦ 意見文の構成を考え、意見文を書く。（2時間） ⑧ 意見文を読み合い、推敲する。 ⑨ 意見文を新聞に投稿する、読んでもらう。（課外）
5	活動のポイント ① 共通資料を読む際に、事実や筆者の考えを正しく読み取り自分の考えをまとめるという活動を行い、個人で資料を読んでいく際の読み方を理解できるようにする。 ② 児童の関心に対応できるように、幅広く図書資料を集めておくようにする。 ③ 図書資料の内容ごとにリストをまとめ、書名をもとに必要な図書を探しやすくするとともに、前書き、目次、見出し、後書きを見て、資料に目星を付ける方法を確認する。
6	留意点 ・ 始めに「仮の要旨」を考えさせ、自分の考えに説得力をもたせるために資料を読むという目的意識をもたせておくことが大切である。
7	連携した諸機関 新宿区立こども図書館 ・ 図書資料の選定および貸し出しに協力してもらった。